

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年8月30日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東・名  
 コード番号 9900 URL http://www.sagami.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鎌田 敏行  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理担当 (氏名)長屋 昇 (TEL)052(771)2126  
 四半期報告書提出予定日 平成24年9月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年1月21日～平成24年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,152	△4.0	97	—	112	—	43	—
24年1月期第2四半期	9,530	△1.0	△115	—	△114	—	△369	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5百万円(—%) 24年1月期第2四半期 △421百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.79	—
24年1月期第2四半期	△15.14	—

※ 当連結会計年度より、会計方針を一部変更しております。詳細は4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。また、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)に基づき、前年同期については各財務諸表数値に対して遡及処理を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,368	9,346	64.9
24年1月期	15,078	9,324	61.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,331百万円 24年1月期 9,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00				
25年3月期(予想)			—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、決算期を1月20日から3月31日に変更しております。このため、決算期変更の経過期間となる平成25年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年1月21日～平成25年3月31日)

(%表示は、第4四半期(累計)は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第4四半期(累計)	18,800	△3.9	310	—	300	—	200	—	8.20
通期	21,600	—	280	—	270	—	160	—	6.56

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成25年3月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については14ヶ月11日間(平成24年1月21日～平成25年3月31日)の業績予想を記載しております。このため、通期の対前年増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	24,972,784株	24年1月期	24,972,784株
25年3月期2Q	592,448株	24年1月期	591,418株
25年3月期2Q	24,381,136株	24年1月期2Q	24,382,947株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月の東日本大震災からの復興需要などを背景に緩やかな回復傾向にあるものの、海外における新興経済地域の一部での成長鈍化や欧州債務危機の再燃、円高の長期化などの影響を受け、依然として不透明な状況で推移しております。

外食産業につきましても、景気回復と連動する形で緩やかに外食支出は回復してきておりますが、お客様の低価格志向の定着、中食需要の高まりなど小売業を巻き込んだ食市場の争奪戦となっております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座を全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、期首より①「グループ経営強化」、②「科学的経営の推進」、③「研修制度の拡充」を柱に取組んでまいりました。

当社主力業態であり、「サガミ」の店名で親しまれております和食麺類部門につきましては、全店販売促進企画といたしまして「名古屋コーチンフェア」、「天然活じめ あなごフェア」、「夏の大感謝祭」、愛知・三重・岐阜・奈良・静岡で「こだわりCM」を実施いたしました。これにより既存店客数は、前年同期比で3.5%減となりましたが、客単価が前年同期比4.6%増となったため、既存店売上高は、前年同期比1.1%増となりました。

店舗関係では、業態転換のため、1店舗（河内天美店）を閉鎖いたしました。

セルフサービス方式のどんどん庵部門につきましては、「どんどん祭り」「こく旨豚つけ麺フェア」を実施いたしました。

店舗関係では、不採算のため11店舗（植田一本松店、丹後通店、津島唐臼店、三河一色店、あかつき金山店、日比野市場前店、各務原市役所前店、蒲郡店、三好インター店、春日井追進町店、中川丸米店）、業態転換のため1店舗（平子橋店）を閉鎖いたしました。

その他の部門につきましては、製麺大学で「初春の大学祭」「初夏の大学祭」「名古屋カレーうどんフェア」を実施し、あいそ家では、「得するクーポン&生ビールフェア」「焼酎ボトル半額企画」を実施いたしました。

店舗関係では、グループ内の業態転換として「丸源ラーメン河内天美店」及び「あいそ家平子橋店」、そして新業態である和風ビュッフェの「もんぺとくわ」、また中国上海に「延安西路店」、フランチャイジーとして「かつや愛知日進店」を新規出店いたしました。更に関東方面への認知度アップを目的に、東名高速道路上り線 新城パーキングエリア（愛知県 新城市）に「陣屋サガミ」を7月13日にオープンいたしました。サガミグループとして初めての高速道路への出店となります。今後、新城パーキングエリアを足掛かりに都心・副都心へのビルインや特殊立地での出店を進める予定であります。一方で、国内で3店舗（あいそ家みよし店、あいそ家城山店、たい夢東浦店）、中国上海で2店舗（虹橋店、南京西路店）を閉鎖いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,152百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は97百万円（前年同期は115百万円の営業損失）、経常利益は112百万円（前年同期は114百万円の経常損失）となりました。四半期純利益は43百万円（前年同期は369百万円の四半期純損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、14,368百万円と前連結会計年度末比710百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比558百万円減少し3,037百万円、固定資産は151百万円減少し11,331百万円、流動負債は前連結会計年度末比65百万円増加し3,237百万円、固定負債は797百万円減少し1,784百万円、純資産は22百万円増加し9,346百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて667百万円減少し、2,350百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は195百万円となりました。収入の主な内訳は減価償却費が177百万円、税金等調整前四半期純利益が76百万円であり、支出の主な内訳は法人税等の支払額が70万円、仕入債務の減少額が65百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金185百万円となりました。収入の主な内訳は定期預金の払戻による収入が100百万円、差入保証金の回収による収入が69百万円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が240百万円、定期預金の預入による支出が100百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は292百万円となりました。支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出が283百万円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月1日に発表いたしました連結業績予想から修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました工場及び配送センターから店舗への配送費については、売上との直接的な対応関係を明確にし、売上総利益をより適正に表示するため、第1四半期連結会計期間より売上原価に計上しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については、遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の損益に与える影響及び前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことによる、利益剰余金の前期首残高に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,097,275	2,469,705
受取手形及び売掛金	85,679	91,400
有価証券	50,159	111,083
商品及び製品	63,426	55,504
原材料及び貯蔵品	145,522	154,072
その他	153,727	155,250
流動資産合計	3,595,791	3,037,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,873,036	1,922,208
機械装置及び運搬具(純額)	135,108	139,785
土地	6,195,652	6,159,243
その他(純額)	87,381	101,642
有形固定資産合計	8,291,179	8,322,879
無形固定資産		
投資その他の資産	152,021	140,872
投資有価証券	1,027,079	940,538
差入保証金	1,627,797	1,538,242
その他	418,337	406,746
貸倒引当金	△34,047	△18,147
投資その他の資産合計	3,039,167	2,867,380
固定資産合計	11,482,368	11,331,133
資産合計	15,078,159	14,368,151
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	544,636	479,182
短期借入金	410,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	566,100	1,033,400
未払金	1,134,910	899,560
未払法人税等	103,851	75,628
賞与引当金	28,964	26,611
店舗閉鎖損失引当金	76,006	16,417
資産除去債務	18,355	—
その他	289,138	296,211
流動負債合計	3,171,963	3,237,011

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月20日)
固定負債		
長期借入金	1,949,115	1,198,765
長期未払金	144,928	128,640
退職給付引当金	7,390	7,012
資産除去債務	321,797	315,275
その他	158,486	134,890
固定負債合計	2,581,718	1,784,584
負債合計	5,753,681	5,021,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	7,256,905	3,405,791
利益剰余金	△3,481,092	413,594
自己株式	△567,318	△568,011
株主資本合計	9,512,015	9,554,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△152,710	△196,296
為替換算調整勘定	△34,827	△26,815
その他の包括利益累計額合計	△187,537	△223,112
少数株主持分	—	14,772
純資産合計	9,324,477	9,346,555
負債純資産合計	15,078,159	14,368,151



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)
売上高	9,530,720	9,152,114
売上原価	2,975,578	2,828,621
売上総利益	6,555,142	6,323,493
販売費及び一般管理費	6,671,002	6,226,036
営業利益又は営業損失(△)	△115,860	97,456
営業外収益		
受取利息	3,315	3,967
受取配当金	13,966	13,784
受取保険金	3,683	9,903
雑収入	8,852	16,543
営業外収益合計	29,816	44,200
営業外費用		
支払利息	24,965	22,265
雑損失	3,106	6,549
営業外費用合計	28,071	28,814
経常利益又は経常損失(△)	△114,114	112,842
特別利益		
固定資産売却益	467	3,816
受取和解金	14,538	—
その他	—	318
特別利益合計	15,006	4,135
特別損失		
固定資産売却損	—	1,215
固定資産除却損	13,153	18,586
減損損失	211,088	8,538
保険解約損	2,057	5,242
その他	—	6,997
特別損失合計	226,299	40,579
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△325,408	76,397
法人税、住民税及び事業税	45,092	40,010
法人税等調整額	△1,653	△7,186
法人税等合計	43,439	32,824
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△368,847	43,573
少数株主利益	411	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△369,258	43,573

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△368,847	43,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,100	△43,586
為替換算調整勘定	8,126	5,942
その他の包括利益合計	△52,974	△37,643
四半期包括利益	△421,822	5,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△422,769	7,998
少数株主に係る四半期包括利益	947	△2,068

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△325,408	76,397
減価償却費	226,632	177,123
減損損失	211,088	8,538
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△2,200
賞与引当金の増減額(△は減少)	559	△2,353
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△6,965	△59,589
受取利息及び受取配当金	△17,281	△17,752
支払利息	24,965	22,265
固定資産売却損益(△は益)	△467	△2,600
固定資産除却損	13,153	18,586
売上債権の増減額(△は増加)	△230	△5,720
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,632	△2,570
仕入債務の増減額(△は減少)	△64,781	△65,453
未払金の増減額(△は減少)	△64,299	△166,824
その他	1,057	△97,422
小計	△15,610	△119,576
役員退職慰労金の支払額	△3,700	—
利息及び配当金の受取額	16,139	16,694
利息の支払額	△24,702	△22,103
法人税等の支払額	△70,600	△70,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	△98,474	△195,190
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
定期預金の払戻による収入	50,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△48,610	△240,759
有形固定資産の売却による収入	467	40,360
投資有価証券の取得による支出	△1	△63,055
投資有価証券の償還による収入	—	5,000
子会社株式の売却による収入	—	17,160
差入保証金の差入による支出	△3,844	△24,244
差入保証金の回収による収入	23,727	69,514
その他	57,269	10,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,009	△185,123

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	—
長期借入れによる収入	70,000	—
長期借入金の返済による支出	△255,436	△283,050
自己株式の取得による支出	△225	△692
リース債務の返済による支出	△8,749	△9,253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,410	△292,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,328	5,899
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△225,547	△667,410
現金及び現金同等物の期首残高	2,614,659	3,017,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,389,112	2,350,024

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年4月19日開催の第42期定時株主総会において、「第1号議案 資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の件」が可決され、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金7,255,780千円のうち3,849,988千円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金3,851,113千円の全部の金額及び別途積立金1,176,500千円並びに固定資産圧縮積立金14,859千円の全部の金額を減少させ繰越利益剰余金に振り替えております。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。